

本問題集で収録している昔話

- ・ 三匹の子ブタ
- ・ 金のおの銀のおの
- ・ 北風と太陽
- ・ みにくいアヒルの子
- ・ オオカミと七匹の子ヤギ
- ・ 王様の耳はロバの耳
- ・ はだかの王様
- ・ ジャックと豆の木
- ・ オオカミ少年
- ・ 赤ずきん
- ・ ピーターパン
- ・ 人魚姫
- ・ ブレーメンの音楽隊
- ・ アリとキリギリス
- ・ 大きなかぶ

※お話の題名、表記、内容は、本問題集用に編集していることがあります。なるべく平易な表現に編集していますが、現代では馴染みのない物が出てきたり、昔話そのままの表現を大切にしたりしている部分があります。また、昔話は地域によって伝承の内容に差異があり、知っているお話と内容が異なることがあるかもしれません。その点にご注意いただき、適宜お子さまに補足の説明をしていただくなどしてご使用ください。

※本問題集は、「昔話→問題1→問題2→解答用紙1→解答用紙2（以降は、問題3→問題4・・・と連番）」を1セットとして問題を構成しています。問題1と問題2を同時に取り組んでもよいですが、昔話を理解するという観点で言えば、問題1を一通り解いた後に問題2を解いた方が、昔話の記憶の定着はよくなりますので、ぜひ問題1と問題2を分けて取り組んでください。

「オオカミ少年」

ある村に羊飼いの少年がいました。毎日退屈な仕事ばかり。「何か面白いことはないかなあ」と考え、いたずらをすることにしました。少年は村の方に向かって「大変だ！狼が来たぞー！」と叫びます。その声を聞いた村人は驚き、少年を助けに行きました。しかし、狼の姿はどこにもありません。村人の様子を見た少年は、「ははは、みんな騙された！狼なんていないよ！」と大笑い。大人達は「そんな嘘をついちゃダメだよ。」と言い、帰って行きました。何日か経って、また退屈になった少年は「狼が来たぞー！」と村に向かって叫びました。大人達は慌てて助けに来ましたが、「また騙された！」と少年は大笑い。そんなことが何回も続いたある日、本当に狼がやって来て羊の群れを襲いました。少年は慌てて「大変だ！狼が来た！今度は本当に来たんだ！」と叫びますが、何度も騙された村人は誰も少年の言葉を信じません。そうして少年の羊は、みんな狼に食べられてしまいましたとさ。

